

平成17年11月7日

平成17年度病害虫発生予察特殊報第2号の発令について

病害虫発生予察特殊報は、新たな病害虫の発生が認められたり、発生のしかたが例年と異なるなど、特異的な現象が認められたときに発令する情報です。

害虫名 アワダチソウゲンバイ
発生植物 セイタカアワダチソウ

平成17年8月中旬、高知市布師田、吾川郡春野町芳原のセイタカアワダチソウの下葉に群棲するゲンバイの成幼虫が確認され、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、これまで本県では未確認であったキク、カンショなどの害虫、アワダチソウゲンバイであることが確認されました。

本種は北米からの侵入害虫で、平成12年に兵庫県西宮市で初めて発生が確認されました。その後、大阪府、京都府、奈良県、三重県、滋賀県、徳島県、岐阜県、愛知県、香川県、岡山県、鳥取県で発生が確認され、セイタカアワダチソウのほか、キク、カンショ、ヒマワリ、ナスなどでの被害が報告されています。

成虫の体長は約3mmで、前翅の周縁部などに顕著な棘があるなど特徴的な形態をしており、また、本虫に寄生されると成幼虫の吸汁により、葉表に白いかすり状の脱色斑点が見られ、葉裏には、黒い粘液状の排泄物が見られます。高知市布師田地区のセイタカアワダチソウでは下葉中心に寄生が見られ、寄生密度の高い株では葉全体は褐変、枯死するものが見られていました。

本県では、現在のところ栽培作物での被害は確認されていませんが、セイタカアワダチソウ群落近くのほ場（特にカンショなどヒルガオ科、キク、ヒマワリなどキク科、ナスなど）では発生に注意する必要があります。



アワダチソウゲンバイの成虫（約3mm）



葉裏に群棲する幼虫

お問い合わせは、病害虫防除所、杉本（TEL.863-1132）または、環境農業課、山崎（TEL.821-4545）まで。